

設備工事研究会

テーマ

生産性と企業価値の向上に向けた、社内改革に挑む

POINT
01

価格競争からの脱皮に向けた
中長期的成長の視点を学ぶ

POINT
02

人材採用・定着に向けた
画期的な手法・取り組みを学ぶ

POINT
03

デジタル化による
改革の視点を学ぶ

設備工事研究会 テーマ設定の背景

Background

電気設備・衛生設備ともに工事費は近年急上昇、生産性向上が急務！

ロシアによるウクライナ侵攻や新型コロナウイルスの流行など、情勢不安に端を発し、資材価格の高騰が続いています。さらに世界的なインフレ市況と円安の進行に人手不足なども加わり、建設業界において工事費の上昇理由を上げれば枚挙に暇がありません。

現に2017年と比較して、2023年12月時点で

電気設備工事費が163.0%、

衛生設備工事費が172.9%への上昇が報告されています。

この状況は価格改定の機会である一方で、これまでの設備工事業のビジネスモデルからの転換に踏み出す大きな特異点とも捉えられます。

企業の生き残りのためには、従来の考えを捨て、生産性の向上策と付加価値の確保が必須となっています。

DX推進を「手段」ではなく「前提」として積極的に取り組むなど

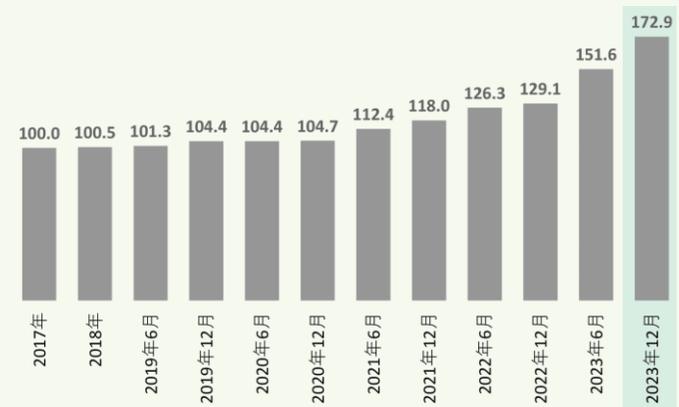
抜本的な社内改革が求められています。

全国における電気設備工事費の推移（2017年=100とした指数）



出典 | 設備工事費指数（弘文社）に基づいて作成
※1 建設会社等より収集した全国における設備工事発注金額に基づいて作成
※2 2017年=100とした指数

全国における衛生設備工事費の推移（2017年=100とした指数）



出典 | 設備工事費指数（弘文社）に基づいて作成
※1 建設会社等より収集した全国における設備工事発注金額に基づいて作成
※2 2017年=100とした指数

出典元: 高騰が止まらない設備工事費の現状と今後の動向 | 2024年版 (<https://archi-book.com/news/detail/713>)

設備工事研究会のテーマ

Theme

生産性と企業価値の向上に向けた、社内改革に挑む

電気・通信・給排水・空調設備・防災・プラント・機械設備分野の企業様

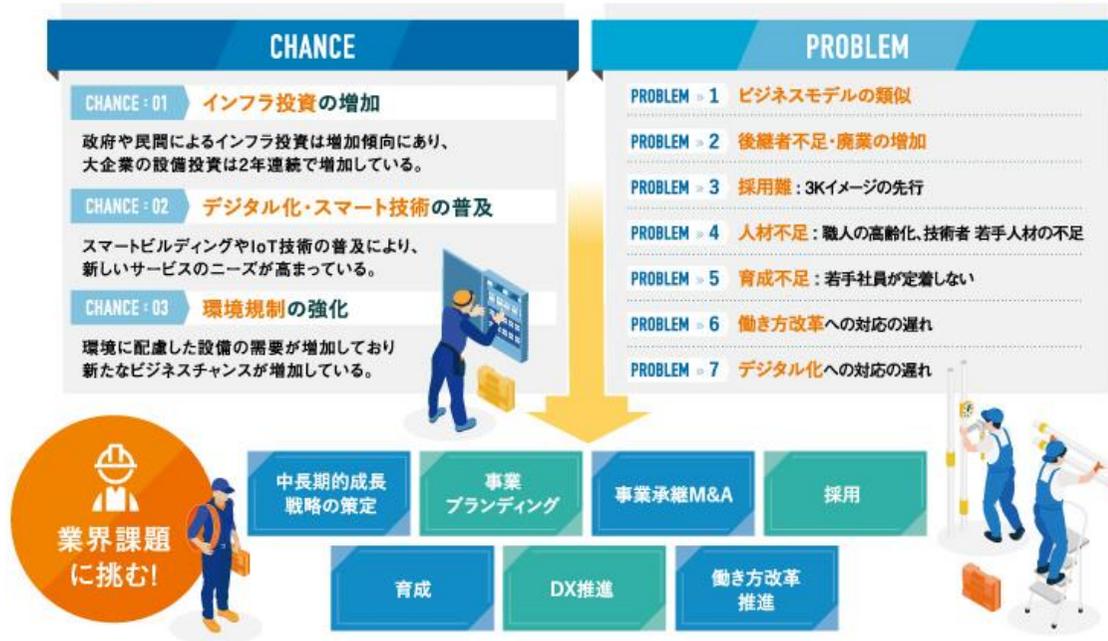
総合建設業の設備工事ご担当者様

このような課題はございませんか？

1. 価格競争から抜け出せず、ビジネスモデルを差別化できていない
2. 後継者不在で事業承継に課題がある
3. 3Kのイメージが先行し、採用に苦戦している
4. 職人の高齢化や技術者、若手人材が不足している
5. 人材育成方法が確立されておらず、若手社員が定着しない
6. 働き方改革への対応が遅れている
7. デジタル化が進んでいない

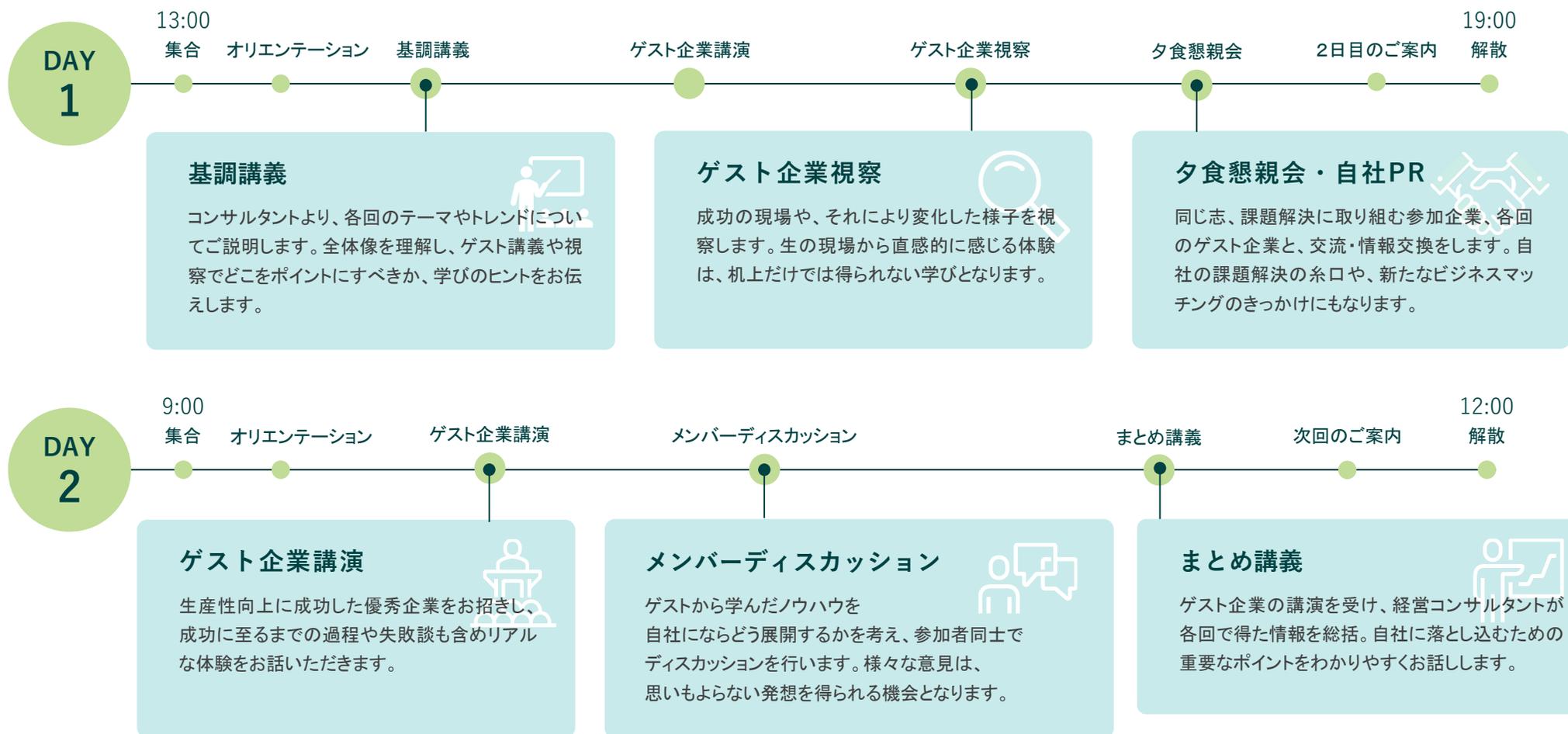
1つでも当てはまる企業は、当研究会でともに学び、社内改革を実現しましょう。


設備工事業における機会と脅威の両面に向き合う



設備工事研究会 当日のスケジュール

Schedule



※ スケジュールは概ねの目安で、運営上変更する場合がございます。予めご了承ください。

Curriculum

01

最先端工場における 設備工事と現場管理手法

RapidusやTSMCなどの企業に代表される最先端工場における設備工事の進め方や、現場管理のノウハウについて学びます。

02

日本をけん引する スーパーサブコンの現状

製品技術や現場エンジニアリング、それを支える自社の研究開発技術や目指すべき未来の姿について学びます。研究開発部門だけではなく、営業DX・BIMなどを駆使した未来の設備サブコンのあるべき姿についても先取りしていきます。

03

設備事業を起点とした シナジー強化とM&A事例

後継者不足を背景に、企業におけるM&A案件は加速している状況です。そうした潮流を捉えた上で、自社および業界の発展にいかに関わりつけていくかについて、研究します。

04

設備工事における センサーや処理技術の活用

デジタルツイン技術の活用によってライフサイクル管理を最適化し、運用コストを削減するポイントを深掘りします。またIoTセンサーを用いたリアルタイムモニタリングによる、設備の稼働状況の把握やメンテナンスの効率化手法についても学びます。

05

教育現場×デジタル技術 による教育革新

VRやAR技術を活用したトレーニングプログラムの実施や、作業員の技術力向上と安全性の強化など、最新技術と教育の掛け合わせによる育成強化について学びます。

06

AI活用による 管理コストの削減

AIを活用したデータ分析により、プロジェクトのリスク管理とコスト削減に繋げた事例について学びます。また生成AIによる現場管理の支援手法についても深掘りしていきます。

設備工事研究会 リーダー紹介

Leader Introduction

設備工事研究会リーダー 大裏 宙

当研究会のスローガンは、「設備工事業の業界課題に挑む！」です。価格競争からの脱皮、後継者不足、採用難、人材定着、働き方改革・デジタル化の遅れ等、様々な課題に対し、方向性を議論し、自社が打つべき手を見出していくことを目指します。

生産性と企業価値の向上に向けた、社内改革とともに挑みましょう！

Profile

前職は全国に店舗展開する上場企業に勤務。経営企画、新規事業立ち上げ、店舗開発、工事、店舗運営支援業務等に携わる。当社入社後は、主に建設業・設備業における中期経営計画策定、事業戦略策定、人材育成、働き方改革推進等に取り組み、全国で多数の実績を有する。

こんな方はぜひ
ご参加ください

- ✓ 価格競争から抜け出せず、ビジネスモデルを差別化できていない
- ✓ 後継者不在で事業承継に課題がある
- ✓ 採用に苦戦している・職人の高齢化や技術者、若手人材が不足している
- ✓ 人材育成方法が確立されておらず、若手社員が定着しない
- ✓ 働き方改革・デジタル化への対応が遅れている



設備工事研究会 ゲストご紹介

Guest Companies

第2回 東京 2025年11月10日(月)



新日本空調株式会社

都市施設事業部スマートテクニカルセンター長 畔地 哲男 氏

【事業概要】 空調設備を主とした建築設備の設計・施工管理を手掛ける総合設備エンジニアリング会社。企業理念は「社会と自然の調和を育み、未来へ向けた思いを満たす。～人や社会、環境の調和を尊重し、また、つながりを大切にしながら、空調を核とする事業を通して、お客様や社会からの期待に応える企業として、これからも社会に貢献します～」。

これまで空気調和・衛生工学会より35回にわたり学会賞を受賞。国内外における主要施設の設備施工に従事している。

現場生産性の効率化と省力化、サプライチェーン強化を
目指す独自の物流・加工ネットワーク戦略



第3回 大阪 2026年1月22日(木)



日新電機株式会社

執行役員 情報システム部長 高橋 浩史 氏

【事業概要】 創立100年以上の歴史を持つ住友グループの電力機器メーカーで、重電8社（日立製作所、東芝、三菱電機、富士電機、明電舎、ダイヘン、東光高岳、日新電機）の一角。ビルや工場等に電力を安定供給するための製品（コンデンサ、ガス絶縁開閉装置）を中心に、太陽光発電関連製品や電子線照射装置等、幅広く事業を手掛けている。特に電力会社向けの電力用コンデンサは、国内シェアの100%近くを占める。近年は中期計画2025で策定したDX構想実現に向け、業務／生産／事業革新の3軸での取り組みにより、スループットの最大化と事業領域の拡大を加速させている。

日新電機におけるDX活動状況



設備工事研究会 ゲストご紹介

Guest Companies

第3回 大阪 2026年1月23日(金)



株式会社清弘エンジニアリング

代表取締役 井畑 忠 氏

【企業概要】創業：1968年／年商：151.9億円(2024年度グループ連結決算)
従業員数：単体98名・連結332名(2025年4月)／本社：京都府京都市

【事業概要】大手製造メーカーの工場に特化した設備工事業を展開。大手サブコンの下請はせず、元請として直接取引することで、スピードと誠意ある対応を実現し顧客満足度を高めている。実績を提案型で水平展開することで、粗利率30%以上・営業利益率10%以上を20年間継続。さらに直近10年間で10社のM&Aを実施したほか、建設・設備業特化型の人材紹介・人材派遣を新事業として展開するなど、攻めの戦略で成長し続けている。

(仮) M&Aおよび独自の人材採用スキームを構築し
高収益安定成長を続ける戦略とは？



第4回 北陸 2026年3月12日(木)



北陸電気工事株式会社

企画部 部長 古村 峰雄 氏

【企業概要】設立：1944年／売上高：47,566百万円 ※2024年度
従業員数：1,308名 ※2025年4月／本店：富山県／東証プライム上場

【事業概要】2024年10月に創立80周年を迎えた総合設備企業。一般家庭からオフィスビル、工場、商業施設など、あらゆる建物・施設で快適な空間を創造するため、環境への配慮と安全を第一に、電気・空調・給排水・衛生・情報通信など、様々な設備の工事を行っている。北陸地域を中心に、大都市圏(東京・大阪・名古屋)にも拠点を設けている。

テーマ未定



設備工事研究会 ゲストご紹介

Guest Companies

第6回 九州 2026年7月14日(火)

 **WAT CONSULTING**



株式会社ワット・コンサルティング

代表取締役 水谷 辰雄 氏

【企業概要】設立:2003年/年商:56億円/従業員数:1099名 ※2025年3月
本社:東京都 営業所全国7拠点、研修センター4拠点、制作スタジオ1拠点を展開

【事業概要】建設・設備業界に特化した人材派遣事業(国内外)、研修事業を主に展開している。自社研修センターで未経験者を一から育て、多くの技術者を業界に送り出してきた実績を有する。スーパーゼネコン、大手サブコンを始めとする、多くの建設・設備業の顧客基盤を持ち、主な取引先は新菱冷熱工業やダイダン、高砂熱学工業、九電工、新日本空調など。

**(仮)他社に類をみない手厚い教育体制で
業界未経験者を一人前に！**



設備工事研究会 開催日程と申し込み要項

Event dates and application requirements

開催日時

第1回	2025年	09月 25日 (木)	・	09月 26日 (金)
第2回	2025年	11月 10日 (月)	・	11月 11日 (火)
第3回	2026年	01月 22日 (木)	・	01月 23日 (金)
第4回	2026年	03月 12日 (木)	・	03月 13日 (金)
第5回	2026年	05月 18日 (月)	・	05月 19日 (火)
第6回	2026年	07月 13日 (月)	・	07月 14日 (火)

開催時間／1日目：午後開始、2日目：午前終了

※日程・開催時間等は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

**FCC
FORUM**
ファーストコールカンパニーフォーラム

ファーストコールカンパニーフォーラムの
視聴アカウント付き！

※全6回通し申込みの場合のみ
詳細は、弊社ホームページをご参照ください。

開催概要

受講対象

電気・通信・給排水・空調設備・防災・プラント・機械設備分野の
経営者・経営幹部・総合建設業の設備工事ご担当者様など

定員

30名様

会費

お1人様(全6回通し)

495,000円(税込)

1名様追加料金(同一企業様) 1回/**66,000円**(税込) 全6回通し/**429,000円**(税込)

同一企業内であれば
お申込みされた方以外の受講もOK！

- 【申込期限】各研究会、開催日の1週間前までにお申込みください。
※事情により、お申込みをお受けできない場合がございます。予めご了承ください。
- 【受講取消】
- お申込み期限日(第1回開催の1週間前、同一企業様からの追加お申込みの場合は各回開催の1週間前)までの取消につきましては全額返金いたします。
 - お申込み期限日の翌日からの取消につきましては代理受講をお願いいたします。代理受講が不可能の場合は以下の通り取消料を申し受けます。ご了承ください。
 - お申込み期限日の翌日から第1回開催日の前日
(同一企業様からの追加お申込みの場合、各回開催日の前日)：会費の40%
 - 第1回開催日以降(同一企業様からの追加お申込みの場合、各回開催日当日以降)：会費の全額

お申込み

ホームページからお申込みください。詳細もこちらからご覧いただけます。

タナベ 設備工事研究会



E-mail | soken-lab@tanabeconsulting.co.jp



※ 弊社ホームページの研究会参加要項に掲載されている研究会規約をお読みの上、お申込みください。研究会規約 <https://www.tanabeconsulting.co.jp/t/lab> ※研究会の会費には教材費、懇親会費を含みます。交通費・宿泊費は各自手配・ご負担いただけます。※お申込み受付後、ご請求書をお送りいたします。会費の前納をもってお申込みとさせていただきます。※状況により懇親会が実施できない場合がございます。予めご了承ください。※ご希望のみ参加されるには、必ず他に1名さま以上の全回参加のお申込みが必要です。

【個人情報のお取り扱いについて】タナベコンサルティングでは個人情報の保護に努めております。詳細は弊社ホームページ上に記載の「プライバシーポリシー」(<https://www.tanabeconsulting.co.jp/t/policy.html>)をご覧ください。なお、ご記入いただいたお客様の個人情報は、上記のお申込みに関する確認・連絡、および弊社発行のメールマガジンや商品・サービスのご案内などをお送りする際に利用させていただきます。